

# 食肉通信

発行所  
株式会社食肉通信社  
大阪府西区西本町 3-1-48  
西本町ビル 〒550-0005  
TEL(06)6538-5505 FAX(06)6538-5510  
振替口座 00900-1-59742  
東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町  
18-1 八二一小伝馬町ビル 〒103-0001  
TEL(03)3663-2011 FAX(03)3663-2015  
九州支局 福岡市博多区古門戸町  
3-12 やま利ビル 〒812-0029  
TEL(092)271-7816 FAX(092)291-2995  
株式会社食肉通信社 2024

2024年(令和6年)5月28日

## 潜在顧客増に努める

### TOKYO X協が総会

TOKYO X I A s  
S o c i a t t i o n  
(中村敏章会長)は5月21日、第25回総会を東京都新宿区の京王プラザホテル新宿で開催。2023年度事業報告、24年度事業計画(案)など工程全議案を承認した。役員改選では、幹事・書記長として新たに田上昭彦氏(株)ミートコンパニオン(株)ミートバック部次長・和光事業所所長)を選任した。

中村会長は「『アンション』とは、集まった人がそれぞれ同じ目的を持ち、計画的に行動する団体のこと。私たち

の目的はお客さまに喜んで食べていただけるTOKYO Xの価値創造だ。おいしいと言っているだけの品質の安定度、顧客の拡大、メディアを使った露出度上昇などにより潜在顧客を増やしていく」

「その方たちに取扱店



「消費者、生産者、社会の3方が喜ぶ環境を構築」と中村会長

## 食肉通信

舗の案内を行い、実際に購入していただき、食べ満足していただく。そして生産者組合との情報を密にして相互の課題を解決しながら、常に店頭で陳列可能な頭数を育てていただくために、アンションとしてできることを議論し、消費者、生産者、社会の3方が喜ぶ環境を構築していく」と強調した。

来賓あいさつでは、井上信治衆議院議員・自民党幹事長代理、大勢待利明青梅市長からの祝辞(それぞれ代読)が述べられた。

TOKYO X I A s S o c i a t t i o nでは、昨年11月に開催された「第15回食育フェア」の来場者212人に試食配布とアンケートを実施した。

その結果、ブランド認知度では、喫食経験の有無にかかわらず全体の約6割が知っているという回答した一方、20代の認知度は低く、継続的な消費者を育てていくため、今後は若い世代へのPRが必要となる。そのためにはSNSや動画ツールなどを活用し、イベントへの参加も継続していく。

また、TOKYO X I A s s o c i a t t i o n公式サイト開設から5年が経過。サイトを通じてさまざまな情報発信を行っており、22年には販売店情報の検索を簡易化した。昨年から料理レシピや取扱店からのメ

ッセージを掲載。今回さらなる充実を図るためアンケートを実施した。昨年4月〜今年5月の1年間を主軸とし、一昨年の比較分析を行った結果、露出が増えていることもあり、新規ユーザー、初めてサイトにアクセスした人の成長率も上昇していることが分かった。今後さらにサイトを充実させることが、消費者にTOKYO Xを知ってもらう機会につながるとしている。

今年5月15〜17日には、東京都主催の展示会「スニテック東京2024」のプログラムの一つとして「シティリーダー

プログラム」という国際会議が行われ、小池百合子都知事も参加。16日に行われたレセプションでは45カ国・地域から訪れる海外の来賓に対して東京都の食材、東京都ブランドの食材を使用した料理が振る舞われ、TOKYO Xのバラを使用した角煮も提供され、アンケートではタンツの人気となった。今後もこうした都のイベントと連携し、TOKYO Xのブランド価値をPRしていく。

総会終了後には懇親会となり、会場ではTOKYO Xを使用したメニューが提供された。